



TPP Q&A 上級編

Q 工業のために農業が犠牲になるのでは？

A 解答

- 工業界は熾烈な価格競争の中で戦っていますが、諸外国の関税が残っていることにより、日本は不利な競争環境に置かれています。例えば、自動車業界では、関税によって毎年1300億円(TPP9カ国向けのみ)もの負担を負っており、アメリカの2.5%の自動車関税は、1台あたり4.5万円もの負担になります。
- 地域を中心になっている大企業が移転すれば、地域の経済や雇用は大きく失われます。工業と農業の両立以外に、日本の経済活性化の道はありません。
- 農業もビジネスと協力しながら競争力を強化し、その上で、農業の守り方を関税から直接支払いに変えれば、TPP参加が農業を犠牲にすることにはなりません。工業と農業の両立は可能なのです。

☆「工業と農業の両立について詳しく知りたい」と思ったあなたはこちら
農林漁業等の活性化に向けた取り組みに関する事例集（経団連HP）：
<http://www.keidanren.or.jp/japanese/policy/2011/016/index.html>